

ところざわ倶楽部
第12期定期総会資料

平成30年11月20日（火）
ミューズ 第2展示室（管理棟5F）

目 次

1、第11期ところざわ倶楽部総括	P 3
2、第11期活動報告	
2-1 総務部報告	P 5
2-2 事業部報告	P 6
2-3 広報部報告	P 8
2-4 サークル活動報告	P 9
3、第11期会計報告および監査報告	P17
4、第12期役員改選（案）	P18
5、第12期ところざわ倶楽部活動方針（案）	P19
6、第12期活動計画（案）	
6-1 事業活動計画（案）	P20
6-2 広報活動計画（案）	P21
7、第12期予算（案）	P22

1 第 11 期ところざわ倶楽部総括

ところざわ倶楽部会長 佐藤重松

ところざわ倶楽部は創設以来 11 年の歳月が過ぎ、会員の年代構成は社会情勢の変化と共に上昇傾向にあります。その大きな要因は、実際の退職年齢が 65 歳から 70 歳へと推移しつつあり、市民大学受講者の応募年齢にもその傾向が反映され、倶楽部入会年齢が上がっていることにあるものと思われます。今後ところざわ倶楽部は、このような客観的背景を考慮した企画・運営の検討が必要であろうと考えます。その様な中で、先ず残念な報告です。11 期に入って 12 月に「歴史散策クラブ」が退会しました。その理由とすところは、サークル会員の減少と高齢化につれ役員・理事のなり手がいないということでした。また、9 月には「北欧の会」が、少数会員、加齢、そして 10 年間の活動を一区切りとして、解散しました。今後には類する問題の解決に向けて、倶楽部全体で知恵を出し合いたいと思います。

次に、<11 期活動の 5 つの基軸について>

【1】全倶楽部会員をつなぐ目的で、友好団体や一般市民も参加出来る企画も織り交ぜ開催した事業については、概ねご評価を頂いたのではないのでしょうか。課題として、文化祭の開催に関して、計画・動員・運営について若干の創意工夫が足りず、一昨年に比べ作品提供者数、観客数で劣っていたことが挙げられます。もう一つは、サークル発表会にエントリーするサークルが少なく、やむなく発表会を中止にしたことです。代案として、会員の「匠」を募り、発表の場・交流の場づくりを検討しています。

【2】サークル相互の活動経験・交流を活発に進め、参加者にテーマや課題への認識が共有されました。中でも、食トコ・自然と農業・地球環境 3 サークル共催の「食の安全と種子法廃止」についてのミニ講演会や、地球環境サークル提案の「不都合な真実 1・2」DVD 上映会では、我が国の「食」がいかにおびやかされているかとか、文明がもたらした“病める地球”を目の前に突き付けられました。

また、所沢の自然と農業、地域の自然、民話の会、食トコ、シニア地域デビュー、映画鑑賞会、傍聴席、生きいきシニア福祉の会などのサークルそれぞれが、地域貢献活動を多彩に展開されていること。これこそが「生涯学習」と「地域に学びを広げ」た実践活動であると考えます。

【3】市民大学との親交は、OB3 団体と企画委員懇談会、受講生への OB3 団体活動紹介、全受講生に「広場」の配布と各期企画委員の理事就任、市民大学側から市民大学通信の理事会配布などが行われましたが、従来の域を超えず、もう一段の工夫について来期の課題にし

たいと思います。

【4】倶楽部全体として、或は其々のサークルが関連する友好団体・外部サークル（さんさん会、市民大学OB会、市民大学ファーム、山田ファーム、スマイルパイレーツ、ワイワイサークル等）との情報交換や交流が進み、活動の幅の広がりを感じた一年でもありました。

【5】年齢と体調によりやむなく退会された後も身近な地域で参加出来る「地域サロン」が立ち上がっています。松井地区・柳瀬地区・小手指地区で既に定期的に開催されています。倶楽部会員と地域福祉サポーター、そして社会福祉協議会地区担当者（CSW）の3者共同のかたちが出てきました。

そのほか、創立以来途切れることのない広報紙「広場」の発行と週単位で更新されているHP（ホームページ）は、開設以来、広報部及び編集委員の皆さんの献身的努力と知力で進化し続け、会員・各サークル・友好団体・関係する市民を結ぶコミュニティ広場としての機能が充実しています。

総務部は、14期から25期および一般まで複層するサークル人員の動向把握や会計処理を、きめ細かくタイムリーに実施・管理し、組織運営を支えてきました。（なかなか見えない実務なので表現しました）

最後に、11期を推進するにあたり、理事・サークル代表の皆様のご協力を頂きましたことに対し改めて厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。

2 第11期活動報告

2-1 総務部報告

総務部長 中原幹男

1. 会員動向

前期の会員数は258名、入会者は29名、退会者は25名で、今期の会員数は262名です。

2. サークル動向

昨年12月に「歴史散策クラブ」が退会し、今年9月に「北欧の会」が退会。現在15のサークルが活動しています。

3. 理事会開催

回数は8月を除き11回開催し、諸課題を議論しました。役員会（会長、部長、副部長で構成）は同じく11回開催しました。議事録1枚ベスト方針で記載の要点化をはかり、会議後1両日中の配布に努め情報伝達をスピードアップしました。

理事会メンバー：佐藤重松、玉上佳彦、中原幹男、岡崎久子、石堂智士、佐藤美津子、森野辰夫、加藤敏恭、海老澤愛之助、高瀬成一、池上幹彦、小玉正男、園田ヒロ子、戸田チイ子、西郡貢、川上紀春、水上俊彦、松尾龍之、方山みどり、松澤慎也（20名）

役員会メンバー：佐藤会長兼事業部長、玉上広報部長、中原総務部長、森野事業部副部長、西郡広報部副部長（5名）

4. 市民大学との連携事業

市民大学受講生に対し、広報紙「広場」の定時配布や、行事チラシの配布などで倶楽部行事やサークル活動の紹介を行い、参加を働きかけ、受講中から倶楽部になじみをもってもらえるよう図り、市大ファーム収穫祭に25期農業GWが参加するなど成果が出ました。受講中の企画委員長、副委員長が続けて倶楽部に入会しており、現役・OB間の意思疎通に努めました。「市民大学通信」も定期的に受け取っています。

①5月24日、生涯学習センターで25期市民大学企画委員会と「OB3団体」懇談会が開催され、ところざわ倶楽部の特長を説明し、企画委員からの質疑に応答しました。

②9月6日、生涯学習センターで市民大学25期生向けの「OB3団体」説明会に参加し、ところざわ倶楽部の構成、16サークル活動のキーワード説明とホームページ紹介を行いました。

③10月25日、生涯学習センターで市民大学25期生の閉講式後に、13サークルの活動展示を行い、入会申し込みを受付けました。また、10月11日、18日25期グループワーク発表会につき倶楽部サークル単位の参加を呼びかけ、多くの会員が聴講しました。

6. 第12期定期総会

11月20日（火）午後1時30分ミューズ第2展示場で開催

2-2 事業部報告

事業部長 佐藤重松

全会員をつなぐイベントは、其々のサークル活動を主体としながらも、サークルの枠を越えて会員同士が集える場、そして、友好団体や一般市民も含め交流と親睦を深めて頂きたい場として開催して参りました。

「新会員歓迎の集い」に始まり、「時局講演会」、昨年開催できなかった第6回文化祭の再開、そして4回連続の「文芸講座」と、開催した事業については一定の役割を果たせた様に思います。

ほかに、第3回目となるサークル発表会を計画していましたが、エントリーするサークルが最少であったため、理事会の承認を得て中止としました。

第11期ところざわ倶楽部開催の主要行事

開催日	行事	内容	参加者	会場
1月29日 (月)	新入会員歓迎 「新春の集い」	1部：箏曲（会員と友情出演者） 2部：落語2題（富岡落語研究会） 3部：新入会員を囲んでお茶会	72名 新会員 (17名)	航空公園内 日本庭園茶室 「彩翔亭」
4月6日 (金)	時局講演会 講師：門奈直樹 立教大学名誉教授	テーマ：政治とジャーナリズム “権力とメディアがどのような関係にあるのが健全なのか” “喫緊の課題	175名	新所沢公民館 ホール
6月6日 (水)	ところざわ倶楽部 第6回文化祭	展示部門：会員・サークルの作品 舞台部門：7サークル出演	150名	中央公民館 ホール及び ホワイエ
6月～7月 (4回連続) 葵の会の全面協力を頂き大成功！	公開文芸講座 講師：及川道之 秋草学園 短期大学教授	テーマ：故郷とどう向き合うのか 遠野物語・賢治・太宰・若竹 若竹：(おらおらでひとりいぐも) (芥川賞受賞作)	95名 一般 (30名)	生涯学習 推進センター

① 新入会員歓迎「新春の集い」：匠の会員と友情出演者（箏曲・落語）で歓迎！

懇親会では“和菓子と抹茶”で和やかに談笑ができ、明るく楽しい一年を祈願しました。

- ② 時局講演会：「政治とジャーナリズム」日本の政治状況とメディアのあり方、トランプ大統領の発するフレーズ「フェイク」と「ファクト」そしてメディア・リテラシー（メディアを読み解く能力）について、メディアが権力に寄り過ぎている日本に於いて大変重要な問題！と理解できました。
- ③ 第6回「文化祭」：作品・舞台の両部門に於いて、計画・運営・動員に検討課題が残りました。作品展示者・舞台出演者のパフォーマンスを盛り上げるには、より多くの来場者が望まれます。
- ④ 公開文芸講座：東北文学「故郷とどう向き合うのか」は故郷について考えさせられる講座となりました。単純に生まれ故郷の田舎があるから、というだけでなく、自分自身が生きて来た“根っこ”探しが、実は「故郷」という事ではないのか。そんな気付きを頂いた様に思います。

最後に、事業部を担当された理事の皆さんと各事業に応援頂いた会員みなさんに感謝申し上げます。

2-3 広報部報告

広報部長 玉上佳彦

1. 本年度の活動

広報部は、会員の情報発信ツールとしての広報紙「広場」とホームページの編集・作成作業を中心に取り組んできました。今年度は、他のサークルとのコラボレーションが可能となるように、各サークルや会員の活動を公開して、相互交流を拡大・促進できるツールとして機能させてきました。

2. 「広場」の紙面構成について

- ・ 昨年の総会でご提案のありましたページ数削減あるいは隔月刊化などを検討しました。しかし、会員への情報発信頻度を維持し、内容を充実させるべきであるという観点から、8ページ版での毎月発行を継続してきました。「広場」は、HPをご覧いただけない方々にも見ていただける紙媒体での情報発信としての機能を有しています。
- ・ 昨年総会時に約束した女性会員の投稿を増やしていくことについて、多くの女性会員のご協力をいただきました。前年と比較した投稿数は以下の通りです。

2016年12月号～2017年11月号 女性会員の投稿数 17件

2017年12月号～2018年11月号 女性会員の投稿数 27件

前年比プラス10件（59%増）という結果となりました。

- ・ 編集会議は、広報部所属の理事のほかに、各部役員、自主的に参加していただいた編集委員計14名で、新企画や紙面構成を検討してきました。
これまで続いていた「私の健康法」シリーズを1月号で終了し、新シリーズとして「みんなの広場」を2月号からスタートしました。
- ・ 今年度は、新たに「戦争と平和！」というテーマで6月号から新企画をスタートさせました。過去に戦争を体験された方々に貴重な経験談をまとめていただいて掲載してきました。

3. ホームページの活用

- ・ 各サークルの活動報告、個人的なエッセイの投稿、会員個人からの情報などの積極的な掲載依頼が多くなり、新情報を多く掲載した充実したHPになってきました。
- ・ 広報紙「広場」と連動したコンテンツ（例えば、「戦争と平和！」連動ページ）もHPに掲載していますので、皆さんのコメントをいただきたいと思います。
- ・ 「掲示板」があまり活用されていないのが残念です。今後の課題として検討していきたいと思います。

2-4 サークル活動報告

1. 葵の会 代表：池田新八郎 連絡先：2940-0711 会員数：34名

1. 本年度の方針

サークル発足して9年経過し、源氏物語、平家物語、万葉集等多くの日本の古典に触れ、古典への知識も深まってきました。また、会員も高齢化していますが新会員も加入し、サークルの雰囲気も変わってきました。古い会員が学んだ作品も、新会員は学んでいないので、講座の方向性、内容を工夫し、新味を出していきたいと考えています。

2. 本年度の実績

講師に及川道之秋草学園短期大学教授をお招きし2年目となりました。昨年の竹取物語に引き続き、本年の2月まで「枕草子」(6回講座)を学習、平安期の宮廷生活、日常生活、四季の移り変わりなど、あらためて清少納言の「おかしな美」を再認識させられました。及川先生にはところざわ倶楽部の文芸講座「故郷とどう立ち向かうのか」(4回)で東北出身の4人の作家の作品を通して、故郷につき講義いただきました。

4月からは、7月まで4回にわたり「古典の名作と能楽のコラボ講座」を竹内好夫観世流名誉師範に講義いただきました。謡曲、舞踊を交えてのコラボ講座で新鮮でした。倶楽部会員、一般の人も受講され好評でした。

3. 来年の方針

9月から来年2月まで6回、及川道之先生に「古事記上巻」を学びます。また葵の会では、文学散歩、能楽鑑賞、バス旅行等を実施、会員間の懇親を図っています。

2. アジア研究会 代表：玉上佳彦 連絡先：090-2497-1076 会員数：36名

①今年度の方針：「アジアの今を学び考える」

近隣諸国の問題点について、会員各位の調査報告、他サークルとのコラボレーション、新企画を加えながら、学びを深め、草の根レベルでのアジア交流、親善を図る。

②今年度の活動報告：

アジアの諸問題について、各会員による調査報告、問題提起、討論会を実施

- ・最新中国事情—2 (玉上代表) ・モンゴルの環境問題 (大江会員)
- ・講演会「一常民の対近隣アジア感覚」講師 栗田 博行氏 (ところざわ倶楽部特別会員)
- ・6/12の米朝首脳会談に関するフリーディスカッション
- ・「ところ学」で学んだ「語り部」の話聞くミニ講演会
- 「山口城にまつわるお話」(岡部さん)「桜淵地蔵尊」(森田さん)「寺子屋の話」(粕谷会員)
- ・「食で斬る！韓国異変 南北融和の裏で」(玉上代表)
- ・「戦争体験を聞く会」(木村会員、松本会員、田中会員)
- ・朗読 浅田次郎「帰郷」 (田中会員、森野さん)
- ・「中国の南シナ海進出問題を考える」(稲村会員)

③来年度の方針：アジア諸国の状況に関し、理解を深め、新たな企画を加えつつ、親睦を深める企画を図り、草の根レベルでのアジアとの交流・親善を目指す。

3. 活いきシニア福祉の会 代表：川上紀春 連絡先：2994-8117 会員数：15名

① 今年度の活動方針

・所沢市の高齢者福祉制度を学ぶ

特に今年度は「所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の第7期改定年度のため、内容について学習する。

・高齢者の健康維持のための知識を学ぶ

・座学による学習以外に食事会、散策等皆で楽しむ企画を行う

② 今年度の活動実績

・出前講座を2回実施

1. 所沢市保険センター「高齢者の口腔ケアについて」 2. 所沢市役所「所沢市の高齢者福祉」

・認知症について学習（認知症の原因、症状、予防法について）

・所沢東消防署「普通救命講習」受講

・「第7期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」冊子を購入し、学習

・川越の神社お寺散策、東京都薬用植物園散策、食事会等実施

③ 来年度方針

・高齢者福祉制度を学ぶ（活動の中心として継続）

・健康に役立つスポーツ、所沢近隣散策、食事会等皆で楽しめる企画を実施

4. 楽悠クラブ 代表：福田晴男 連絡先：2948-3983 会員数：33名

① 今年度の方針

月例会では、オペラ、クラシックに加え、ミュージカルなど様々なジャンルの音楽を鑑賞演目とし、「頭の体操／クイズを楽しむ」等の要素を入れた時間を設ける。

② 今年度の活動実績

1) DVD、LDによる鑑賞（月例）： 参加人員 毎回14～30名（見学者を含む）

・歌劇「トリスタンとイゾルデ」、「魔弾の射手」、「ナブッコ」、「イル・トロヴァトーレ」

・喜歌劇「メリーウィドウ」、音楽映画「仮面の中のアリア」、「マリア・カラスト集」

・男性コーラス「イル・ディーボ ライブ・アット・武道館2016」

・ミュージカル舞台「キャッツ」、ミュージカル映画「ラ・ラ・ランド」

2) その他の活動

・月例会開始時における「発声&今月の曲を歌唱」

・1月新年会、・N響、読売日響ほか様々なコンサートを鑑賞、9月暑気払い会

③ 来年度の方針

オペラを主として、クラシック、ミュージカル、ジャズ、バレエ、音楽映画など、様々なジャンルのものを鑑賞するとともに、演奏会や音楽講演会に参加する。

5. 食を通して所沢を知る会 代表：園田ヒロ子 連絡先 090-4005-1882 会員数：12名

1) 今年度の方針

- ①「食」を通して、知識と会員相互の親睦を深める。
- ②「フードバンク（もったいないからありがとう）」に協力。

2) 活動実績

- ①ところざわ倶楽部文化祭での発表（食トコの活動とフードバンクについて）
- ②食に関する講義を受講 「食の安全とタネの話」講師：山田正彦（元農林水産省）
- ③ミニ講演会の開催・「たまごの話いろいろ」講師：食トコ会員玉上氏
- ④猛暑を乗り切る「スパイス料理」料理実習 ・池袋中華街での本場の味を食す
- ⑤井上スパイス工場見学会
- ⑥他サークルとのコラボ
 - ・三崎の本場マグロを食し「さかな館」見学・石川酒造「酒蔵見学」
 - ・バス旅「笠間の陶芸美術館と食の達人の旧宅を訪ねる」

3) 来年度の方針

- ・食を通し、食への知識を深めると共に、所沢産の農産物の現状を学ぶ
- ・会員相互の親睦を深めつつ他サークルのコラボ活動の推進
- ・フードバンクへの協力への継承

6. 地域の自然を考える会 代表：海老澤愛之助 連絡先：2922-0259 会員数：9名

①会の基本方針

1. 地域の自然に親しみ緑の保全、保護活動に積極的に参加する。
2. 活動を通じ会員相互の理解親睦をはかる。

②活動実績

- | | | | |
|----|----------------------------------|----|-----------------------------|
| 1月 | トトロの森 12号地の管理作業 | 6月 | 全国規模の河川等水資源調査 |
| 2月 | トトロの森 12号地の管理作業 | | 及びトトロの森 12号地の管理作業 |
| 3月 | トトロの森 12号地の管理作業 | 7月 | トトロの森 12号地の管理作業 |
| 4月 | トトロ財団の収穫祭に参加
(他のグループとの懇親を深める) | 8月 | 三富今昔村の見学等自然との共生
について勉強する |
| 5月 | トトロの森竹林管理（筍掘り） | 9月 | トトロの森 12号地の管理作業 |

③本年度の目標

1. トトロの森 12号地を主とする地域の自然に親しみ緑の保全、保護活動に積極的に参加寄与する。
2. 国土交通省、環境省が係わる全国規模で行う河川等の静資源調査に協力する。

3. 上記1. 2. の作業に継続的に参加すること。
4. 会員相互の親睦を第一に各自が時間と、体調、年齢を考え都合の良い時に気楽に参加活動してゆく。

7. 地球環境に学ぶサークル 代表：中島峯生 連絡先：2928-1161 会員数：10名

1. 今年度の方針

- ①エコ見学会 スーパーエコタウン見学会「北欧の会」と共催、他
- ②定例会で話し合った内容、発表、報告事例等を適宜、「広場」、ホームページで発信するとともに、講座の開催を検討する。
- ③生ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続していく。

2. 今年度の活動実績

- (1) 見学会：スーパーエコタウン「北欧の会」と共催 11/8、(2) 鑑賞：①映画「武蔵野 4/23 川越スカラ座、②DVD BS フジ「小泉元首相が生出演！原発ゼロ」3/13 ③DVD 映

画「不都合な真実1、2」5/15 購入貸出。10/22 上映会 ④DVD「環境・レイチェル・カーソンの警告」9/18、(3) 講演会：①「モンゴルで環境問題を考える」1/31、②「所沢新電力事業について」6/4、③「食の安全とタネの話」6/12、(4) 定例会内容・再エネの導入状況、エネルギー基本計画、脱プラ世界の取組み等を HP で発信

3. 来年度の方針

- ①環境・エコ関連施設、設備、展示会等の見学会実施
- ②温暖化への適応策、再エネ普及、廃プラごみ等環境関係の学習情報、内容を適宜「広場」、ホームページで発信する。また、関連講座の開催を検討する。
- ③生ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続していく。

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 代表：田口元也

連絡先：090-9820-5668 会員数：10名

1. 今年度の方針

- ・定年後も健康で豊かな生きがいのある生活をめざす。
- ・シニア世代の社会参加による元気なまちづくりをめざす。
- ・仲間どうし助け合い・支え合いで健康寿命の延伸をめざす。

2. 今年度の活動実績

- ・なんでも塾の開催：今年度は4回にわたって一般市民を対象に行う。
- ・市民活動団体との交流：交流会セミナーで地域デビューの学習活動を行う。
- ・生涯学習講座の紹介：社会参加のきっかけとなる講座一覧を配布する。
- ・SP活動による社会参加：市民フェスティバル、老人ホーム施設訪問など積極的に行う。

3. 来年度の方針

- ・なんでも塾の開設：シニア世代の興味・関心に応じた学習活動・交流会・サークル紹

介などを広く市民に働きかけていく。

- ・シニアサロンの開設：シニア世代がくつろぎながら、なんでも語り合える“たまり場”を開設する。
- ・SPの活動の拡大：SPの活動を通して市主催の行事参加、老人ホーム等の施設訪問を積極的に行う。

9. 所沢の自然と農業 代表代行：稲村洋二 連絡先：2992-1751 会員数 25名

1. 今年度の方針：下記3テーマの活動を企画・実行する。
 - ①里山の保全と再生：落ち葉掃き体験会の開催 カルチャーパークの維持・保全
 - ②所沢農業の活性化：地産地消取組み団体支援
 - ③健康づくりと親睦：春と秋のハイキング 市民大学ファームの運営
2. 今年度の活動実績
 - ①1月 陽子ファーム落ち葉掃き（所沢市農業振興課と共催）
 - ②2月 三芳町伊藤農園落ち葉掃き
 - ④4月 狭山湖畔ハイキング
 - ⑤5月 信州高山村宮川農園「りんご花摘みボランティア」
 - ⑥6月 市民大学ファーム収穫祭
 - ⑦7月 山田ファーム収穫祭
 - ⑧10月 信州高山村宮川農園「りんご収穫ボランティア」
柳瀬荘黄林閣散策路整備ボランティア
 - ⑨11月 高尾山ハイキング 市大ファーム・山田ファーム収穫祭 黄林閣散策路
3. 来年度の方針
基本は今年度方針を継続とし、他サークルとの連携で活動&交流の幅を広げる。

10. 野老澤の歴史をたのしむ会 代表：小川雅愛 連絡先：2907-9476 会員数：35名

- ① 今年度の方針
活動担当者とその担当者をバックアップするグループ制で行事計画を作成し、実行する。
グループは6グループに分ける。
- ② 今年度の活動実績
30年度活動計画案に従って順調に実行出来ている。行事担当者と行事参加者お互いに協力出来るので参加者も多い。
- ③ 来年度の方針
まだ年度途中なので具体的には決められない。
 - グループ構成を基にした行事担当制を来年度も続けることが良いかどうか等を検討していきたいと思っている。
 - 年間の活動回数は21回を目標とし、講座や勉強会の屋内活動と、市内外の屋外活動による知と体のバランスある活動を心がける。

- サークル結成 10 年目にあたり、記念の行事や原点回帰のサークル活動を検討していく。
- 講座聴講の成果が上がるよう、そこから発展・現場検証をする姿勢で臨む。

11. ドラマティック・カンパニー 代表：柳沢千賀子

連絡先：04-2968-5035 会員数：12 名

① 今年度の方針

- ・昨年度と同様、過去に読んだ作品と新しく読む作品とを交互に読み進める
- ・倶楽部文化祭に向けての作品選びと練習

② 活動実績

- ・月 2 回の例会（基本第 1・第 3 土曜日）
扱った作品 「ハムレット」「マクベス」
- ・6 月 6 日：ところざわ倶楽部文化祭発表 「ハムレット」
- ・7 月：劇団四季「恋に落ちたシェイクスピア」鑑賞
(作曲・指揮・音楽監督 笠松泰洋先生)

③ 来年度の方針

- ・月 2 回の例会を可能な限り維持していく
- ・今年度は時間が確保できず実施できなかったが、作品を読み終えた後に配役を決めて練習し、サークル内で発表する。笠松先生よりコメントをいただく。

12. 懐かしの映画・鑑賞会 代表：二上拓夫 連絡先：04-2998-1958 会員数：31 名

1. 主なテーマ

懐かしき良き時代の映画を大きなスクリーンで鑑賞する。上映作品の内容や時代を思い描き、出演俳優を話題に上映後お茶を飲みながら大いに懇談をする事で、「一笑一若」（ひとつ笑う事で、ひとつ若くなる）を狙っております。『懐かしの映画は思い出のダイアリー』サークル活動は会員の皆さんで楽しみ、盛り上げ運営するサークルです。

2. 活動実績

- ・H24 年 11 月サークル発足から 6 年、上映回数も 10 月末 108 回目となり、邦画、洋画やコメディやラブストーリーと作品も懐かしさだけでなく昔の感動と今で観る感動を楽しんでおります。今年度は上映回数 100 回を記念して所沢がテーマ「はだかっ子」を上映しました。上映回数は 20 回／年 参加延人数 412 名となります。
- ・最近では川越市スカラ座で「弁士付き無声映画会」を 2 回／年程度開催実施しており、会員の皆様に課外の上映会として楽しんでおります。また街中「町造商店」の行事に積極的に参加して「所沢の今と昔」広報事業にも参加活動しております。

- ・今年も古くからの季節行事「季節の歳時記」を上映会のタイミングの中で行えた事です。所沢名物・1月の繭玉飾り・7月の暑気払い/そうめん流し・10月の十三夜の月子供のころからの風習など大いに歓談の話題づくりを行いました。

3. 今後の予定

- ・11月下旬に行う、年度纏め会にて「映画に所縁のある土地を訪ねる」課外活動も実施に向けて計画する。また、他の団体の上映活動の鑑賞会などへ参加を計画する。

13. 脳活サークル 代表：加曾利厚雄 連絡先：2939-2308 会員数：17名

<活動実績を主体に示す>

平成 29 年度	活動内容	講師・参加者
11月28日	料理教室「いのちのスープ」	会員による教室/16名
12月19日	「琴演奏」と「トコトコバンドの演奏」・忘年会	若山昭氏他/32名
1月23日	アロマセラピーで認知症予防	古市千夏氏/16名
2月27日	若年性認知症同士の対談と懇談会	丹野智文氏他/200名
3月27日	会員による認知症対策「海外事情」「血液型の関係」	会員の講座/15名
平成 30 年度	活動内容	講師・参加者
4月24日	総会（話し合い）、懇親会（藍屋）	幹事会/16名
5月28日	認知症サポーター講座・介護保険の改正点他	泉志津子氏/15名
6月25日	フラワーアレンジメント（指先と頭の活性化）	安田好子氏/12名
7月23日	市民大学で発表したもののアレンジ	会員の脳活講座/10名
8月27日	現場から見た認知症患者	泉さんと看護師/15名
9月25日	会員体験記「憧れのニューヨーク」ほか	鶴野沢実豊氏/15名
10月21日	「居場所のさつき」見学と小金井公園の散策	泉さんと幹事会/

<「認知症にならない私生活を身に付ける」をモットーに遊びながら学んでいく>

14. 北欧の会 代表：樋口俊夫 連絡先：090-6483-7993 会員数：5名

1、今年度の目標

- ① アウトドア（大使館訪問）の活動を行う②北欧情報などの持ち寄り学習
- ③ 北欧関係のDVD観賞 ④「パンケーキの国で」を読む

2、活動実績

- ①デンマーク大使館は大使館のルールが変わり実現せず
- ②DVDの鑑賞と話し合い「欲望の資本主義」、「日本人の働き方と北欧に暮らす」「花を奉る」「奇跡のレッスン」など（3月、4月、5月、9月）
- ③ 持ちより学習、「デンマークに育って」など（6月）
- ④「パンケーキの国で」を読む。「福祉一人間らしい生活を楽しむ権利」「」など

ところざわ倶楽部第12期定期総会資料
（平成29年11月1日～平成30年10月31日）

(2月、3月、4月、5月、6月、9月)

3、来年度の方針

サークル発足10年を機に2018年10月サークル解散致しました。
長年有難うございました。

15. 傍聴席 代表：石堂智士 連絡先：2947-0835 会員：15名

①今年度の方針（来年度の方針も同じ）

「傍聴席」は所沢市の市議会を傍聴し、市政と市政に関する身近な問題を幅広く仲間と話し合い考えます。またブログ「傍聴席」を通して伝えることを目的にしています。

②今年度の活動実績

- 29. 11. 20 市議会会派「自由民主党」との質疑応答：粕谷議員、青木議員、松本議員
 - 28. 12. 18 今年の反省と来年の計画・自由討議、終了後忘年会
 - 29. 01. 22 総会開催：活動報告、収支報告、活動計画など
 - 29. 02. 19 「会員フォーラム」：新電力、30年活動計画策定
 - 29. 03. 19 「会員フォーラム」：新電力、とことこバス、県議会原発再稼働表明の抗議
 - 39. 04. 16 「自由討論会」：傍聴席の今後の活動方針など
 - 29. 05. 21 出前講座「下水道料金のあり方」上下水道局経営課：質問書、質疑応答
 - 29. 06. 18 「会員フォーラム」：文化芸術振興ビジョン、産業振興ビジョン
 - 29. 07. 17 出前講座「学童保育」こども未来部青少年課：質問書、質疑応答
 - 29. 09. 18 「会員フォーラム」：文化芸術振興ビジョン、所沢市議会の議会改革
 - 29. 10. 15 市議会会派「自由民主党・無所属」との質疑応答：大石議員、入沢議員
- 今年の参加者は6～14人です。ブログのアクセス回数は累計17万6千件になりました。

16. 民話の会 代表：仲山富夫 連絡先：090-3902-0283 会員数：8名

1. 今年度の方針

- 1) 「民話の会」のオリジナルソングを挿入し、楽しい演出を考える。
- 2) 語りのレパートリー拡大を図る。

所沢の民話「河童のお伊勢参り」「南永井のさつまいも」「滝の城の竜」「東光寺の金毘羅さん」の語りを学習し発表する。

- 3) 児童館、小学校、各種老人ホームでの「語る会」の実施。倶楽部文化祭へ参加。

2. 主な活動

- 1) 所沢市立南小学校、所沢小学校、上新井小学校の3年生と所沢の民話を学んだ。
- 2) 各種形態老人ホーム、児童館でのお話を開催した。倶楽部文化祭へ参加した。
- 3) 他サークルとの合同活動を行った。 4) オリジナル民話を作成した。

3. 来年度の活動方針

- 1) 児童館、小学校幼年組、各種形態の老人ホーム、倶楽部文化祭へ積極的に参加し活動を広めていく。
- 2) 所沢の民話、全国の民話昔話を学習し発表する。オリジナル話を作成する。
- 3) 倶楽部内サークルや外部のサークルとの合同活動を進める。
- 4) 倶楽部参加者や一般人から会員を募り、2チーム以上での活動を目指す。

3. 第11期 会計報告および監査報告

(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

≪収入の部≫

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
前期繰越金	161,327	161,327	0	
会費	520,000	524,000	4,000	262名 X 2,000円
会報郵送費	32,000	31,200	△800	39名 X 800円
講座受講料	157,500	156,000	△1,500	会員68名@1500、一般27名@2000
雑収入	90,000	98,000	8,000	懇親会 総会後76名@1000、新年会44名@500
合計金額	960,827	970,527	9,700	

≪支出の部≫

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
講演会講師謝礼	160,000	125,000	△35,000	新春の集い、講演会、連続講座
会場費	190,000	139,370	△50,630	総会、文化祭、講演会、理事会、編集会議
振込手数料	10,000	6,200	△3,800	会費・郵送料のうちよ振替手数料
会報発行費	35,000	46,408	11,408	「広場」(用紙代・印刷代・インク代)
会報郵送費	45,000	39,120	△5,880	郵送(郵送希望者・特別会員)
通信費	55,000	49,636	△5,364	総会案内はがき、総会資料送料発送、
	12,000	9,000	△3,000	正副会長連絡事務費
事務費	102,000	75,746	△26,254	事務用消耗品等
サークル補助費	110,000	98,500	△11,500	活動補助費(16サークル)
雑費	90,000	125,812	35,812	総会後及び新年会懇親会飲食費
予備費	34,000	21,011	△12,989	広報部用HP関係費用等
10周年事業費	10,000	6,571	△3,429	ハーメルンCD制作、記念誌事務費等
次期繰越金	107,827	228,153	120,326	
合計金額	960,827	970,527	9,700	

上記のとおり報告いたします。

平成 30 年 10 月 31 日 総務部 会計 中原幹男 ㊞ 岡崎久子 ㊞

<監査報告>

ところざわ倶楽部(平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)の会計書類について監査を行い、報告書は平成 30 年 10 月 31 日現在の財産および収支状況を適正に表示していることを認めます。

平成 30 年 10 月 31 日 会計監査 田村健一郎 ㊞ 小野さとえ ㊞

4. 第 12 期役員改選 (案)

No	期	氏名	第 12 期役職	理事	第 11 期役職	推薦母体及びサークル
1	21	佐藤 重松	会長	留任	会長兼事業部長	理事会推薦
2	20	中原 幹男	副会長兼総務部長	留任	副会長兼総務部長	地球環境に学ぶ
3	20	玉上 佳彦	副会長兼広報部長	留任	副会長兼広報部長	理事会推薦
4	17	森野 辰夫	副会長兼事業部長	留任	事業部副部長	理事会推薦
5	22	西郡 貢	広報部副部長	留任	広報部副部長	理事会推薦
6	19	岡崎 久子	総務担当理事会計	留任	総務担当理事会計	所沢の自然と農業
7	17	石堂 智士	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	傍聴席
8	22	大西 優	総務部担当理事	新任		所沢シニア世代地域デビュー支援
9	15	仲山 富夫	事業部担当理事	再任		理事会推薦
10	14	佐藤 美津子	事業部担当理事	留任	総務部担当理事	民話の会
11	18	加藤 敏恭	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	楽悠クラブ
12	21	小玉 正男	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	アジア研究会
13	19	園田 ヒロ子	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	食を通して所沢を知る会
14	16	戸田 チイ子	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	野老澤の歴史をたのしむ会
15	22	水上 俊彦	事業部担当理事	留任	広報部担当理事	葵の会
16	23	川上 紀春	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	生きいきシニア福祉の会
17	21	松尾 龍之	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	懐かしの映画・鑑賞会
18	22	方山 みどり	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	ドラマティック・カンパニー
19	23	岩瀬 真弓	広報部担当理事	新任		理事会推薦
20	23	大木 美和子	広報部担当理事	新任		理事会推薦
21	18	田村 健一郎	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦
22	15	小野 さとえ	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦

退任理事：(事業部担当理事) 海老澤愛之助、池上幹彦、松沢慎也

5. ところざわ倶楽部第 12 期活動方針（案）

“楽しく学んで・ふれあって・地域の絆を紡ぎましょう!!

ところざわ倶楽部会長 佐藤 重松

第 12 期の活動方針について、以下のように提案致します。

第 11 期総括を受けて、課題とするところ、新たな展望を具体化するところの両面でこの一年を進めて参ります。

1. 会員の平均年齢上昇傾向は現実の問題ではありますが、人生 90 年時代を迎え、まだまだこれからの心意気で、倶楽部の中で、所属するサークルの中で、豊富な人生経験と知識を活かし大いにご活躍頂きたいと願います。縦横無尽の活動が肉体的に少々困難になられたとしても、広報紙「広場」や HP（ホームページ）に対し、ご意見やエッセイなど投稿参加の活動をして頂きたく存じます。

また、引き続き、全会員が点在する行政 11 地区に身近な交流の場「サロン」の立ち上げを目指します。

2. 全会員をつなぐ事業計画について、引き続き創意工夫を重ねて進めます。

各事業計画は、事業部実施計画に於いて進めますが、其々に実行委員会を設け、得意の分野で会員の皆様のご協力を頂く仕組みづくりの上で開催したいと思えます。

とりわけ 11 期からの継続発展事業として、①「食の安全と種子法廃止」など、時代に合ったテーマの時局講演会。②DVD「不都合な真実」に見られる地球環境問題など、様々な角度からの映画鑑賞会。③「広場」や HP で連載の「戦争と平和」のシンポジウムの企画。

（戦争を知らない世代が大半となり、あの時代の体験者は少数、悲惨な戦争を風化させない、平和の尊さを子や孫に語り継ぐ集いの開催）これらの企画も地域貢献・啓蒙活動の一環として、実行委員会方式で取り組みたいと思えます。

3. サークル相互のコラボ活動・交流をさらに活発に進め、同時に市民大学現役受講生との交流も企画します。例：（2 年次のグループワークと意見交換）（サークル定例会へ参加を呼

びかける)

4. 市民大学も四半世紀経ち、社会情勢の変化に対応するべく、「市民大学のあり方」について、OB 団体として、所管の教育委員会へ提言したいと思います。OB 三団体役員の交流の場を設け、かかる問題を共有できれば、OB 全体の提言としてアピール出来るのではないかと思います。

5. 今期は新しいサークルの立ち上げ・倶楽部加入について、努力の年とします。市民大学 21 期起ち上げ（活いきシニア福祉サークル）以来、新規サークルの加入がありません。ここ 3 年、サークルの退会や解散が続きました。高齢化や少人数、或は理事を出すことが困難等の理由があったとしても、大変残念なことでした。この状況をプラスの方向へ転ずるには、新しい息吹が必要です。ぜひ、全会員の皆さんのお力添えを頂きまして、実現したいと思います。

結びに、所沢市に於けるアクティブシニアの団体として、市民大学 4 つの理念と独自のサークル活動のなかで、地域社会貢献活動も積極的に取り入れた極めて質の高い集団である事を確認し合い、広報紙「広場」と HP を媒体として、会員をはじめ、各サークル、或は友好団体や関係する市民と双方向で情報の共有を強化し、更に“活動の輪”を広げたいと思います。

6 第12期活動計画（案）

6-1 事業活動計画（案）

事業部長 森野 辰夫

1. 活動方針 会員相互の「交流と親睦」を深めることを事業計画の柱とし、多くの会員の皆さんが参加して頂ける企画を提案し進めてまいります。各サークル活動をバックアップすると共に、会員の関心の高いテーマを選定しシンポジウムの開催を検討します。また、昨年提唱した身近なネットワークづくりも幾つかの地域では芽生え始めております。引き続き会員の皆様のご協力をお願い致します。

2. 活動計画

- ① 「新春の集い」 新会員の歓迎と新旧会員の交流と親睦を深める
- ② 「講演会」 時代や社会情勢にヒットするようなテーマを検討
- ③ 「文芸講座」 会員及び一般市民参加型の講座を開催。（有料講座）
- ④ 「定期総会と懇親会」 年度総括及び会員の交流と親睦の場とする
- ⑤ 「文化祭・サークル発表会」

*文化祭：発表者以外の参加者が少ない等課題が多い為、会員のみなさんからご意見を賜り再検討いたします。

*サークル発表会：各サークルの活動を市民大学の皆さんを始め一般市民の方々にも広く知って頂くような機会を設けたいと考えております。サークル皆様のご協力をお願いします。

- ⑥ 「シンポジウム」 環境、介護、戦争と平和（広場連続掲載）等のテーマから選定し講演パネルディスカッション、映画鑑賞等を企画したいと考えております。

第12期 事業計画(開催時期及び概要)

時期	概要
1月	新春の集い
4月	講演会
7月	文芸講座（会員、一般対象）

11 月	定期総会・親睦会
検討	文化祭・サークル発表会
検討	シンポジウム

(時期、内容については状況により変更 する
事があります。)

6-2 広報活動計画（案）

広報部長 玉上佳彦

広報部としては、これまで同様に、各サークルや地域にて活躍されているアクティブシニアを応援して、情報発信するツールとして、広報紙「広場」とホームページを充実させていきたいと考えています。具体的には以下のような施策を進めていきます。

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- ①学習活動の継続
- ②会員相互の親睦
- ③学びを地域に活かす
- ④ネットワークづくり

を念頭に、ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて、的確かつタイムリーな情報発信に注力する。

2. 編集体制の強化

- ・ 広報部担当理事だけでなく、経験豊富な会員の編集委員の参加を募り、編集体制の強化を図る。特に女性の編集委員の増員をめざす。
- ・ 前年度と同じく、各部役員の編集会議への参加を要請し、ところざわ倶楽部全体の活動方針との整合性をもたせる。

3. 広報紙「広場」

- ・ 原則として、従来どおりの8ページ構成の紙面で月刊紙として発行する。
- ・ ネット環境を有しない会員への的確な情報提供媒体とする。
- ・ 「戦争と平和！」シリーズに関しては、戦争を経験していない戦中戦後世代の方々にも登場いただいてコメントの投稿を掲載。
- ・ 新企画、新シリーズを提案し、会員の投稿の増加を図る。
- ・ 前年度以上に女性会員の投稿数の増加を図ると同時に、女性が気楽に投稿できるページ構成を検討する。

4. ホームページ

- ・ ネット時代に対応した最新の情報、コンテンツの充実を図る。
- ・ 他のOB会にはないHPを作成しているメリットを活かして、会員相互の情報交換やアピールの場を提供する。
- ・ 各サークル間の連携を図り、合同企画などで、より活発な「ところざわ倶楽部」の広報部門としての活動を展開する。

7. 第12期 予算案

(2018年11月1日～2019年10月31日)

≪収入の部≫

(単位円)

項目	12期予算	前11期決算	増減	備考
前期繰越金	228,153	161,327	66,826	
会費	524,000	524,000	0	12期262人×2,000円
会報郵送費	31,200	31,200	0	12期39人×800円
講座受講料	156,000	156,000	0	会員68名@1500、一般27名@2000
雑収入	98,000	98,000	0	懇親会 総会後76名@1000、新年会 44名@500
合計金額	1,037,353	970,527	66,826	

≪支出の部≫

(単位円)

項目	12期予算	前11期決算	増減	備考
講演会講師謝礼	160,000	125,000	35,000	新春の集い、講演会、講座等
会場費	190,000	139,370	50,630	総会、講演会、講座、理事会、文化祭等
振込手数料	10,000	6,200	3,800	会費・郵送料のうち振替手数料
会報発行費	47,000	46,408	592	「広場」(用紙・封筒・印刷代等)
会報郵送費	46,000	39,120	6,880	「広場」郵送(郵送希望者・特別会員)
通信費	56,000	49,636	6,364	総会案内はがき、総会資料送料、
	12,000	9,000	3,000	正副会長連絡事務費
事務費	100,000	75,746	24,254	事務用消耗品、印刷代
サークル補助費	102,000	98,500	3,500	活動補助費(15サークル)、文化祭
雑費	140,000	125,812	14,188	総会後懇親会飲食費、 新春の集い懇親会お茶代等
IT費	23,889	21,011	2,878	HPサーバ使用料、ウイルスソフト
	120,000		120,000	広場編集用パソコン
10周年事業費	0	6,571	△6,571	
次期繰越金	30,464	228,153	△197,689	
合計金額	1,037,353	970,527	66,826	

総務部長 中原幹男

